



SHIROYAMA HOTEL kagoshima の SDGs 推進活動

プラスチックごみ削減 紙パックナチュラルウォーターを採用

SHIROYAMA HOTEL kagoshima (城山観光株式会社／所在地：鹿児島市／代表取締役社長：東清三郎) は、プラスチックごみの削減のために環境にやさしい紙ストローを導入していますが、さらなる取り組みとして宴会場で提供している水をペットボトルから紙パックに変更し、2022 年 6 月 1 日より採用しています。



HAVARY'S (ハバリーズ)
330ml

採用した紙パックナチュラルウォーター（商品名：HAVARY'S／製造：株式会社ハバリーズ）は、100%再生可能である紙素材と、内面のアルミ箔はリサイクル過程で燃料として完全に熱エネルギーに変換される素材の容器を使用し、キャップ部分はサトウキビ由来の原料から作られています。また、使用済みの紙容器は製造元により回収され、新たな紙素材として再利用されます。

SHIROYAMA HOTEL kagoshima では、このほかにも宴会場において環境に配慮した様々な取り組みを行っております。

■宴会場における SDGs 推進活動 事例

- ① **3010 運動推進**：宴会の最初の 30 分間と最後の 10 分間に食事を楽しむ時間を設けて食べ残しを減らす活動の推進。
- ② **生ごみ削減設備の導入**：2018 年 2 月から生ゴミ処理機の運用開始。1 日平均処理量は 2020 年度 18.3kg/日 (6,668kg/年)。
- ③ **紙ストロー導入**：プラスチックストローの使用をやめ、環境にやさしいストローの導入。
- ④ **ペットボトルキャップの回収**：世界の子どもたちを救うワクチンに活用。
- ⑤ **SDGs バッジ作成**：破損など不要となった感染予防対策用アクリル板を再利用して SDGs バッジを作成。



左：宴会場に掲示している 3010 運動 POP
右：生ゴミ処理機

SHIROYAMA HOTEL kagoshima は、地域密着、社会貢献を経営理念に掲げ、お客様に快適なサービスを提供するとともに、SDGs 活動を通じて環境に配慮した企業活動と地域社会に貢献する業務への取り組みを一層推進してまいります。

(参照) SHIROYAMA HOTEL kagoshima が取り組む SDGs 詳細 <https://www.shiroyama-g.co.jp/sdgs/>

【報道関係者様からの本リリースに関するお問い合わせ】

SHIROYAMA HOTEL kagoshima (城山ホテル鹿児島) <https://www.shiroyama-g.co.jp/>

〒890-8586 鹿児島市新照院町41-1 TEL:099-224-2212 FAX:099-224-6686

マーケティング部 吉岡/ 大羽 E-mail: e-yoshioka@shiroyama-g.co.jp, a-ohba@shiroyama-g.co.jp